

企画部主催 交流会

いろいろな形でやってます！

3月13日（土）

コロナ禍で、せめてもの「ミニ交流会」をと、難聴者協会の全国福祉大会実行委員会の時間を割いていただきノートテイク体験交流会開催しました。



6月19日（土）

第1回 Zoom による会員交流会を開催。13時の定刻になると、お久しぶりの顔、初めましての顔といろいろ……。画面に会員の顔が増えるたびに笑顔がこぼれました。

参加したのは新入会員3人を含む16人。「コロナ禍での私の変化」をテーマに、ひとり



1分間で自己紹介をしてもらいました。

手書き研修部さんはセンターのボランティア室から参加。また隣室のスタジオからも、部会帰りの広報部さんや、事務局長らが参加。センターが全館 Wi-Fi 体制に整ったことなども話題にのぼりました。

7月28日（水）

第2回 Zoom による会員交流会を開催。今回は特別ゲストとして、会長の経験もあり、3年前に大阪に転居された津田文子さんが登場！懐かしいお顔、声に感激！

津田さんは現在も要約筆記者として精力的に活動されており、大阪の要約筆記事情などをお話ししていただきました。

昨年はコロナ予防の観点から、顔を合わせる交流会どころか例会開催もままならない状況でした。お互いの現況を伝え合うだけでも繋がりを感じていただけたのではないのでしょうか。企画部会では「パソコンと手書きメンバー間での交流も深めたい」「まず、それぞれが話すことが一番」という意見も出て、Zoom による交流会を今後も開催していきます。ご参加ご協力をお願いします

～研修部より～

手書き研修部 **今回は、研修部のみなさんに日頃どんな学習をしているか伺いました。**

手書き研修部では月に1回2時間、先輩も参加出来る日を選んで「短文を簡潔にまとめる」「音源を要約筆記して検証する」「文字の書き方や漢字の練習」「言葉の選択」「話し言葉の決まり文句」などの学習を織り混ぜながらノートテイクとロールの学習をしてきました。

「試験で出来ないことは派遣でも出来ない、派遣で出来ないことは試験でも出来ない、全ては繋がっている」と考えています。

不定期ですが自主学習もしています。試験が近づいたら試験関連の学習もしていますがメンバーと相談しながら決めていきます。先輩にも「字の癖ありますね。」と声をかけられるほど和気あいあいです。一年間よろしくお願ひします。

(久松 久仁子)

手書き研修部では、情報保障が正確に伝えられるように、音源や文の要約の練習をします。ノートテイクでは、利用者が見やすいようにペンを寝かせて書く。レジユメ付きの音源を聞いて書くなど。ロールでは楷書で文字の大きさを統一する。行間は揃っているか、文字数、削除、省略、基本的な漢字が書けているか、要約技術の活用ができていないかなどを確認します。

毎回要約の難しさを実感しております。

先輩方から、ご指導をいただきながら要約筆記者に必要な知識と技術を学んでいます。

(川俣 美智子)



用紙、ペンは常に席にあり、練習音源の準備もあり、戦いではないが、臨戦態勢はいつでもできている。コロナ禍であっても、部長のかけ声「できないは口にしない。とにかく書くのだ。」が響く。そんな印象の学習会。

恐ろしいのは、「先輩はどう書きましたか。」のことは。

しまった、今日は欠席すればよかった～。いつかは「どーんとこい!!」言いたいが。

(池邊 恵子)

学習会では、持ち寄った音源を聞いての要約練習と、他の参加者の要約を聞くことが、とても勉強になりました。同じ音源を聞いても各々着目点が違い、要約の仕方が違うので要約の奥深さを感じます。

また、同じ目的を目指して頑張る仲間との交流も励みになります。普段は毎朝NHKR1(ラジオ)を聞いて6時台は「マイBiz」をパソコンで、7時台は「深読み」で手書きのロール、「ここに注目」でノートテイクを練習しています。

(河井 美恵)

手書き学習会では、自分ひとりでは勉強しにくいことを中心に学習しています。

音源を聞いて、本番さながらに要約筆記をやってみます。それを全員で読み合せして「良い点」「悪い点」を指摘し合います。すると、不得意な所や苦手な部分が浮び上がってきます。先輩方からも直接、適切なアドバイスをいただき、自主学習するうえでも、とても勉強になっています。

(弘蔵 祐子)